

会長あいさつ



謹啓

時下、会員の先生におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、第85回日本温泉気候物理医学会総会・学術集会を東京 早稲田大学 国際会議場井深大記念ホール、リーガロイヤルホテル東京において、2020年5月22日（金）～24日（日）の期間で、副会長 聖マリアンナ医科大学教授 信岡祐彦、早稲田大学スポーツ学術院教授 村岡 功と共に開催させて頂く事となりました。

昭和10年に当学会が設立され、2020年に第85周年を迎える伝統と歴史ある本学会の総会会長を仰せつかり、大変光栄に存じますと共に、この重責を感じながら実りある学術集会とするために準備を進めております。

今までの学術集会を振り返ると、諸先輩が温泉の恵みと自然の力を取り入れて研究が発展してきた中に、活力ある息吹と大きなロマンが感じられます。大会のテーマは「温泉、気候、物療とスポーツを科学する」に決定し、今までの長い歴史の総括としての記念講演とシンポジウムを企画し、本学会を長年支えてこられた大先輩の方々にも講演をお願いいたしました。特別講演、シンポジウムには温泉、気候、物理療法、スポーツ分野と関連の深い各分野でご活躍されている国内外の著名な先生に講演をお願いいたしました。特に今回は、2020年東京オリンピック開催の年であり、この分野で学会に関係する先生の発表を取り入れ、活性化された学会を目指して各種講演内容を企画、検討いたしております。

一般演題の座長には、若き研究者をできるだけ起用して学会の発展を託し、またコメディカルの先生にも広く学会発表の機会を提供し、懐の広い、内容のある学会といたしました。ご批判も有るかと思存しますが、今後の学会運営の反省材料として頂けましたら幸いです。

何卒ご理解を頂きますよう、重ねてお願い申し上げます。

謹白

東京医療学院大学名誉教授

専門学校東京医療学院 校長

早稲田大学 商議員、評議員

第85回日本温泉気候物理医学会総会・学術集会

会長 武田 淳史